

# 夏合宿報告書

## '12 四国パーティ



### ・山城

三嶺 石鎚山

### ・メンバー

C.L.・渉外・医療 : 今村涼(人文学部人間文化課程 2年)  
S.L.・記録・エッセン・気象・会計 : 大橋昂太(農学生命科学部生物学科 3年)  
S.L.・記録・装備・気象 : 奈須野勇(人文学部経済経営課程 3年)

## 行動記録

8月8日(水)

弘前駅(6:51)→大館駅(7:33/8:06)→秋田駅(9:41/10:24)→新庄駅(13:13/14:19)→  
山形駅(15:26/16:32)→米沢駅(17:17/17:45)→福島駅(18:30/18:49)→黒磯駅(20:44/20:52)→  
宇都宮駅(21:42/21:47)→上野駅(23:38)

今日は、ずっと電車で揺られていました。始めのうちは見送りに来てくれた人たちの話などをしていましたが、そのあり余る時間ゆえに何もすることがなくなり、みんな眠りました。電車は私たちが何もしなくても目的地に連れて行ってくれます。私も将来は電車のように前に進む人達に引っ張られて、何も考えていなくても生きていけるような幸せな人生を送りたいと感じました。ぶらりと途中下車もしたいです。ネカフェは接客態度がなっていませんでした。腰が痛いです。

8月9日(木)

上野駅(5:09)→品川駅(5:28/5:55)→沼津駅(8:05/8:08)→浜松駅(10:17/10:20)→  
豊橋駅(10:54/11:03)→大垣駅(12:31/12:42)→米原駅(13:18/13:20)→野洲駅(13:45/14:00)→  
相生駅(16:22/16:25)→岡山駅(17:30/17:42)→板出駅(18:22/18:48)→琴平駅(19:23/19:25)→  
大歩危駅(21:10)

気が付くとそこは大歩危でした。

8月10日(金)

大歩危駅→三嶺登山口(10:26)→ダケモリの丘(13:31)→三嶺小屋(15:46)

山行1日目。登山口まではバスで行く予定でしたが、バスの出発予定時刻まで時間がかなりあること、運賃がさほど変わらないということからタクシーで向かうこととなりました。タクシーの運転手さんは人生について語ってくれました。運転手さんは親切で、かずら橋など大歩危の観光名所を案内してくれました。山では獣道で迷った人がいると言っていました。登山口には大量の案山子がありました。夜に動き出しそうで怖かったです。登山口では、地図を見ながら「こんなん嶽コースだろ」とか「余裕だわ(笑)」とか「けもの道で迷うのは初心者までだよ」とか言いました。実際にその日の山行は比較的安定していて、初見ということもあり少し迷ったところもありましたが何事もなく山頂近くの小屋までたどり着くことができました。周りの木や花などはいつもと異なる種類のものがたくさんありました。森の雰囲気もなんとなく違ったものがありました。山の中にはキノコがたくさんありました。写真をいっぱい撮ったので興味のある人は写真を見て下さい。

8月11日(土)

三嶺小屋(3:00/5:27)→西熊山(7:25)→お亀岩(7:59/8:33)→天狗峠(9:09/9:12)→  
天狗塚分岐(9:19)→お亀岩避難小屋(9:51)

山行2日目。今日は最高の1日でした。夜から降っていた雨は段々と弱まっていきました。これならば、歩けるだろうと安心しながら小屋を出ました。お亀岩までの登山道は、低い草に覆われ歩くごとに水滴でズボンが濡れました。山頂からの眺めは見渡す限り雲に覆われていて全くなにも見えませんでした。さらに遠くからは雷鳴が聞こえました。天狗峠までの登山道では急な坂になっているところがあり、泥まみれになりながら登りました。天狗塚分岐の時点で私たちは精神的にだいぶ疲れていました。その時雷鳴が始めよりも近くで聞こえたため、早足で引き返しました。急いでいたので何度か転び、さらに泥まみれになりました。結論を言うと今日は最悪でした。

8月12日(日)

お亀岩避難小屋(5:03)→天狗塚(5:35)→天狗塚分岐(5:51)→第一ピーク(7:32)→  
西山登山口(8:33/8:55)→林道(11:04)→登山口(12:27)→大歩危駅→高知駅

山行3日目。今日中に山を出ることを目標に出発しました。シカが「ビィー」と鳴いていました。山は獣臭かったです。天狗塚分岐までの道は昨日と同じなので黙々と進みました。そこから分岐しているのですが、道が複数あり少し迷いました。途中でけもの道に入っていることに気が付き引き返しました。フラグを回収できて良かったです。その後は、天候にも恵まれ比較的何事もなく登山口までおることができました。それからバス停までの道のりは、林道を通る予定でした。私たちは、「三嶺を降りたんだぞ。林道とか消化試合だわ」みたいなことを言って林道に入りました。何か変だと気付いたころにはだいぶ下っていました。ピンクテープがあちこちいついているところあたりから、おかしいなどは思っていました。でも、「ピンクテープを信じれば大丈夫だよ」と進みました。途中でがけ崩れを起こしているところがありました。ピンクテープががけ崩れの終わりの所にはついていました。「あれ、ピンクテープだよ。じゃあ行こうか」だいぶおかしくなっていたのだと思います。結局、もと来た道を引き返すことにしました。その後はタクシーを呼んで、大歩危駅まで連れて行ってもらいました。タクシーの運転手さんはなんと最初に私たちを登山口まで送ってくれた人でした。高知駅で止まったのは、「高知ってでかい都市だよ。じゃあ装備とか体調とか整えられるじゃん」みたいな理由でした。ネカフェは満員でした。ホテルも満員でした。私たちは高知駅前に設置してあった、木製簡易ベット(ベンチ)に横になりました。今でも、テレビのうどん特集などで高知駅が映る度に嫌な気分になります。今日も最悪でした。

8月13日(月)

高知駅→伊予西条駅

コンクリートジャングル

8月14日(火)

伊予西条駅→京屋旅館→～そして伝説へ～

～ワングルの次回の夏合宿にご期待ください～

#### 【総括】

今回の山行はほんとにグダグダでした。今村君の普段のコーラ漬けの生活よりグダグダでした。思えば6月ごろに石鎚山に行くぞと決めた時には、どれほど喜んだことか。今回の結果がこのようなことになってしまい残念でなりません。

今回の合宿にのぞむにあたって、C.L.である今村君はもちろんのこと大橋君にも大変頑張ってもらいました。というか自分はほとんど丸投げ状態でした。2人は夏合宿が近付くにつれて忙しくなりつつも、期待に胸を膨らませて楽しみながら準備を進めていたと思います。そのため今回の夏合宿がこのような結果になってしまったことを自分以上に悔んでいるのではないかと思います。とはいえ、この部は自然を相手に活動するものですから、天候などに左右されてしまうのは仕方ないとあきらめるしかないと思います。それと共に、計画通りに物事が進まない状況で、冷静に判断を下し何事もなく安全に山行ができたことをうれしく思います。

自分の勝手な意見ではありますが、今回に限っては天候に恵まれていれば何事もなく夏合宿を終えることができたと思います。メンバーの皆さんは計画の設計、体力、経験など山を登るにあたって必要なものが完全とまでは言いませんが、そこそこ備わっていますし、そのためにTWを積み重ねてきたからです。そのためメンバーの皆さんには今回の夏合宿で落胆することなく、これからも山と良いお付き合いをしてほしいと思います。

TWの回数ではC.L.の今村君に大変迷惑をかけてしまいました。もうあんな怖い思いはしたくないので、TWは計画的にしましょう。イマムラーうしろー。

今回の行動記録は主に山行についてまとめるためのものだそうなので、山行以外のアプローチなどについてはあまり書いていません。そのため、電車での出来事や伊予西条市で何をやったのか、なんで京屋旅館に行ったのかなどの疑問がある方は直接メンバーに聞いてください。眉をひそめながら話してくれると思います。

最後に、共に四国に行き西日本で2番目に高い山に登ったメンバーのみなさんに感謝しつつ、行動記録の報告を終えたいと思います。以上です。ありがとうございました。

担当：奈須野勇

# 医療使用報告

担当：今村

使用年月日	薬品名	使用者	使用量	用途
8月11日	デシンA	奈須野	適量	切り傷
	包帯	奈須野		切り傷

## 感想

山行日数は少なかったが天候などの条件が大分悪かったため、

怪我をして医療パックを使用することになってしまった。

だが、大きな怪我人が出ずにすんでよかったと思う。

装備報告

テント：『虚空の幻影〜ゲシュペンストファントム〜』使用せず

ツェルト：『イエロー』使用せず

火器：『若』・『松』使用

ガス缶：2缶使用

ブス板：2枚使用

天気図用紙：6枚使用

ろうそく：大2つ使用せず

修理具：使用せず

【感想】

今回は、特に危険な状況にならなかったため、通常使用する範囲の装備を使うだけで済んだ。新品のテントは、使用しなかった。火器・ガス缶は通常の使用の範囲内で使用した。天気図用紙は2日分使用した。ツェルト、ろうそく、修理具は使用しなかった。以上で報告を終了します。

担当：奈須野勇

## 四国パーティー エッセン報告書

担当 大橋 昂太

8月10日

夜食：闇井（宿泊地：三嶺ヒュッテ）

感想：可もなく不可もなく、いたって普通で、ご飯は少し炊き方がまずかったのか、少し柔らかかった。みんな、奇抜な食品を持ち込むことはなかったので、まともな食事であった

8月11日

朝食：ラーメン（宿泊地：三嶺ヒュッテ）

感想：可もなく不可もなく、いたって普通で、腹にたまることもなかったが、事後処理に時間がかかることもなかったので、まあ良しとしよう。

（エスケープによる停滞を選択）

夜食：ジフィーズ（お亀岩避難小屋）

感想：気分が最悪な中、ジフィーズはよく我々のテンションを上向きに保ってくれたと思う。できるヤツである。この時点で、行動予

定が狂いにくるっていたので、ジフーズの量はみな好きなように  
選んで食べた。

8月12日

朝食：ジフーズ（お亀岩避難小屋）

感想：天気が最悪だ。このジフーズが我々の今日1日の行動力を  
決定する大切な一食になった。ラーメンや、おかゆなどではこれか  
ら迫りくる破滅への序曲を聞く前に、力尽きていただろう。

以下、下界での停滞により、食事は完全各自。

最終日

夜食：ごちそう（宿泊地：京屋旅館）

感想：おいしい。が、おいしさだけで癒せるほど、我々の心の傷は  
浅くはなかった。

朝食：ごちそう

感想：質素ではあったが、とてもおいしかった。その日の昼に食べ  
るはずの讃岐うどんを思えば、素晴らしい前座だったといわざるを  
得ない。



弘前大学ワンダーフォーゲル部 四国パーティー  
会計報告  
担当 大橋 昂太

1、 収入

4,0000 円×3 人=12,0000円

2、 支出（青春 18 切符代は各自捻出）

・ 地形図

2421 円+4245 円=6666 円

・ 結成式

18,195 円

・ お揃い（サングラス）

4500 円

・ 差し入れおよび記録帳

634 円

・ ジフーズ

8,086 円

・ 食費（買い出し）

2,500 円

・ 名頃までのタクシー代

10,000 円×3 人=30,000 円

・ 旅館

25,650 円



### C. L総括

担当：今村

今回の夏合宿は一言で言うともとても残念な結果だったと言えるだろう。初めての石鎚山、四国ということで予定タイムなどのところでも不安要素があったことに加え、運悪く天候も大荒れであり全く予定通りに進むことができなかった。また、三嶺なども事前に集めた情報から想像していたもの違いかなり辛い山行になってしまった。国土地理院発行の地図も予定コースが載っていない部分が多々あり、山と高原の地図に頼る場面も多かった。下山の途中で遭難しかけてしまい、北田先輩に大きな心配をかけてしまった。また自分のC. Lとしての判断もこれでいいのかと悩む部分が多かった。特に停滞の判断と中止の判断をしたときは本当にこれでよかったのかと悩んだり、間違った判断だったのじゃないかと落ち込んだりもした。今回は自分のC. Lとしての判断や経験の浅さを思い知った山行になったしまった。

でもこの山行は全てが悪いわけではなかったと思う。大歩危駅でバスを待っている時に話しかけてきたタクシーの運ちゃんの勧めで見に行ったかづら橋というのはとても良かったし、三嶺から降りてきて遭難しかけなんとか登山道入り口で帰りのタクシーを呼んで待っているときにそこにちょうど登りに来ていてご夫婦が『駅まで送ろうか?』と声をかけてくれたり、その他にもいろいろな四国の人たちの優しさを感じることができたと思う。

最後になりましたがたくろー先輩、春香先輩、北アルプスPと南アルプスPのみなさん差し入れありがとうございました。(ただしワインはのぞく) 繋手を務めてくれた北田先輩にはご心配をおかけして申し訳ありませんでした。また奈須野先輩と大橋先輩には自分の至らないところサポートしてもらって本当にありがとうございました。こんな結果になってしまって本当に申し訳ないです。こんな至らないC. Lの私でしたがみんなの協力で夏合宿に行くことができました。本当にありがとうございました。